



# 機械受注統計調査報告

Machinery Orders

令和3年2月実績

February 2021



令和3年4月

April 2021

内閣府経済社会総合研究所

景気統計部

Department of Business Statistics  
Economic and Social Research Institute  
Cabinet Office, Government of Japan

## 目 次

2021（令和3）年2月の機械受注動向	
（1）需要者別受注動向（季節調整値）	1
（2）民需の業種別受注動向（季節調整値）	1
（3）販売額、受注残高、手持月数（季節調整値）	1
〈参考1〉 需要者別の機械受注動向（原数値）	6
〈参考2〉 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）	6
統 計 表	8

### （ 調 査 の 概 要 ）

本調査は、機械等製造業者の受注した設備用機械類について、毎月の受注実績を調査したものであり、調査対象は主要機械等製造業者、調査時点は毎月末日である。

1987（昭和62）年4月実績より、調査対象社数を202社（うち機械製造業者178社）から308社（同280社）に増加させるとともに、調査内容を拡充した280社ベースの調査に移行した。

2011（平成23）年4月調査より、日本標準産業分類の改定（2007（平成19）年11月）に準拠して、需要者（業種）分類を変更した。表章については、2016（平成28）年1月調査より、従来の移行期表章分類から変更後の調査票分類へと移行した（巻末の対照表を参照）。

### （ 使 用 上 の 注 意 ）

- 1989（平成元）年4月調査の実績額から、すべて消費税を除くベースで調査している。
- 本調査は、毎年1月調査の時点で季節調整系列の改訂を行っている。季節調整方法は、X-12-ARIMAの中のX-11を使用している。ただし、主要系列（受注総額、民需、民需（船舶・電力を除く）、製造業、非製造業、非製造業（船舶・電力を除く）、官公需、外需、代理店）については、RegARIMAを利用した季節調整を検討し、適用している（詳細は巻末を参照）。
- 統計表の増加率は比較される二つの計数の増（減）分を前期（前年同期）の計数で機械的に除したものである。
- 「携帯電話」については2005（平成17）年度より調査を行ってきたため、2004（平成16）年度以前については、「携帯電話」を除いた系列を計算することはできない。このため、2011年4月調査以降、本調査は2005年度開始となる。
- 業種分類及び機種分類の定義は、本調査HPを参照。  
[https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu\\_juchu.html](https://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/menu_juchu.html)
- 2017（平成29）年6月調査より、機種分類の表章を一部変更した（「電子計算機」と「半導体製造装置」を統合し、「電子計算機等」とした）。

## 2021（令和3）年2月の機械受注動向

### (1) 需要者別受注動向（季節調整値） [第1表及び第1・2図参照]

最近の機械受注の動向を前月比で見ると、受注総額は、1月1.7%減の後、2月は26.4%増となった。

需要者別にみると、民需は、1月4.9%減の後、2月は12.0%減となった。このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、1月4.5%減の後、2月は8.5%減となった。内訳をみると製造業が5.5%減、非製造業（船舶・電力を除く）が10.9%減であった。

一方、官公需は、1月27.9%減の後、2月は地方公務、国家公務等で減少したものの、防衛省で増加したことから、17.0%増となった。

また、外需は、1月6.4%増の後、2月は電子・通信機械、船舶で減少したものの、産業機械、鉄道車両等で増加したことから、76.2%増となった。

なお、最終需要者が不明である代理店経由の受注は、1月4.7%増の後、2月は電子・通信機械、工作機械で増加したものの、道路車両、産業機械等で減少したことから、7.5%減となった。

### (2) 民需の業種別受注動向（季節調整値） [第2表参照]

製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、1月4.2%減の後、2月は5.5%減となった。

2月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは17業種中、石油製品・石炭製品（54.0%増）、「その他輸送用機械」（27.0%増）等の5業種で、繊維工業（51.3%減）、食品製造業（47.0%減）等の12業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注を前月比で見ると、合計では、1月8.6%減の後、2月は13.9%減となった。

2月の受注を業種別にみると、前月比で増加したのは12業種中、卸売業・小売業（9.1%増）、金融業・保険業（6.8%増）の2業種で、電力業（24.1%減）、農林漁業（20.6%減）等の10業種は減少となった。

### (3) 販売額、受注残高、手持月数（季節調整値） [第3図参照]

2月の販売額は2兆1,761億円（前月比5.1%増）で、前3か月平均販売額は2兆1,582億円（同0.3%増）となり、受注残高は28兆8,660億円（同2.9%増）となった。この結果、手持月数は13.4か月となり、前月差で0.3か月増加した。

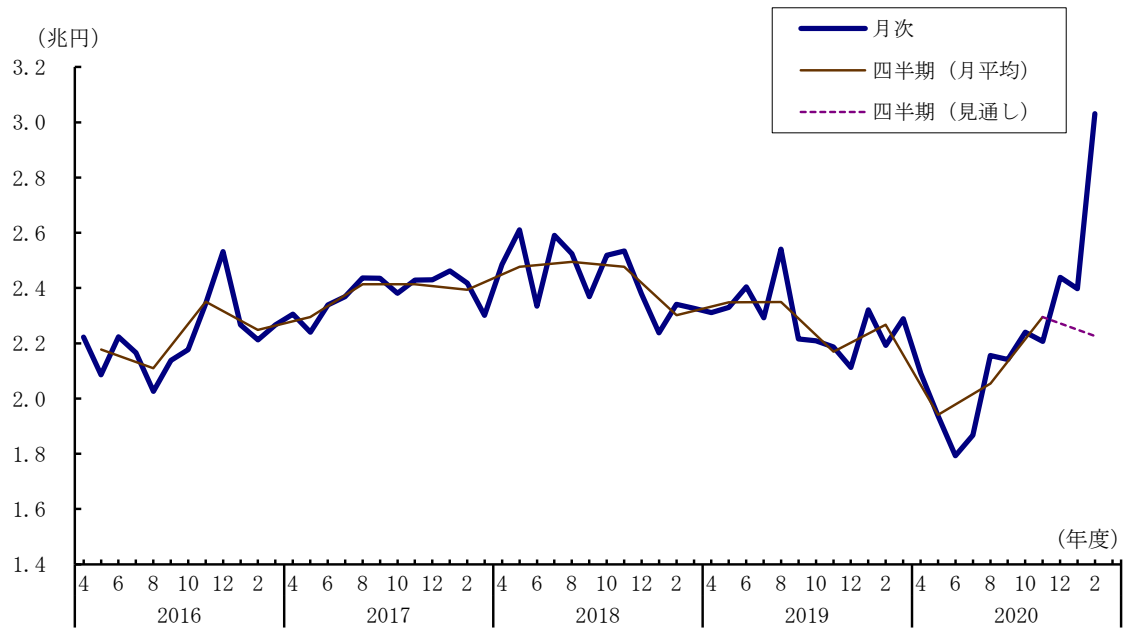
第1表 主要需要者別機械受注額

(単位：億円，%)

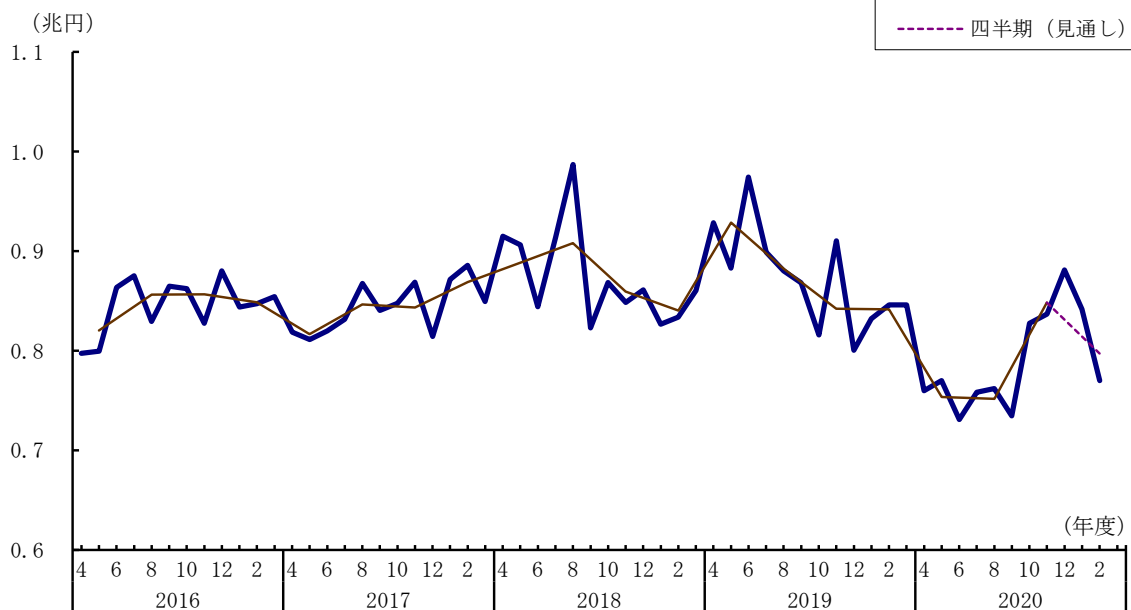
期・月 需要者	2020年 (令和2年)				2020年 (令和2年)		2021年 (令和3年)	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	11月	12月	1月	2月
受注総額	68,014 ( 4.5) [ -0.7]	58,223 ( -14.4) [ -17.7]	61,641 ( 5.9) [ -11.6]	68,851 ( 11.7) [ 6.4]	22,063 ( -1.5) [ -0.2]	24,384 ( 10.5) [ 18.6]	23,974 ( -1.7) [ -0.8]	30,312 ( 26.4) [ 40.7]
民需	30,020 ( -4.4) [ -3.2]	27,217 ( -9.3) [ -15.5]	27,748 ( 2.0) [ -14.9]	29,446 ( 6.1) [ -4.5]	9,557 ( -0.4) [ -16.7]	10,290 ( 7.7) [ 5.8]	9,791 ( -4.9) [ -4.9]	8,615 ( -12.0) [ -11.7]
〃 (船舶・電力を除く)	25,240 ( -0.1) [ -1.0]	22,606 ( -10.4) [ -19.1]	22,546 ( -0.3) [ -14.1]	25,451 ( 12.9) [ 1.2]	8,368 ( 1.1) [ -11.3]	8,809 ( 5.3) [ 11.8]	8,417 ( -4.5) [ 1.5]	7,698 ( -8.5) [ -7.1]
製造業	10,696 ( 0.4) [ -3.4]	9,315 ( -12.9) [ -19.9]	9,605 ( 3.1) [ -15.0]	10,703 ( 11.4) [ 0.8]	3,432 ( -1.6) [ -3.1]	3,785 ( 10.3) [ 3.9]	3,624 ( -4.2) [ 1.1]	3,426 ( -5.5) [ -2.8]
非製造業 (船舶・電力を除く)	14,493 ( -2.9) [ 0.6]	13,257 ( -8.5) [ -18.4]	12,963 ( -2.2) [ -13.4]	14,972 ( 15.5) [ 1.4]	4,963 ( 3.4) [ -17.1]	5,208 ( 4.9) [ 18.1]	4,744 ( -8.9) [ 1.7]	4,227 ( -10.9) [ -10.1]
官公需	8,974 ( 21.2) [ 45.0]	9,130 ( 1.7) [ 8.9]	8,156 ( -10.7) [ 6.6]	8,306 ( 1.8) [ 14.6]	2,637 ( 0.6) [ -2.1]	3,048 ( 15.6) [ 51.5]	2,198 ( -27.9) [ -40.1]	2,571 ( 17.0) [ 3.5]
外需	25,566 ( 8.8) [ -8.7]	18,913 ( -26.0) [ -28.4]	23,304 ( 23.2) [ -12.3]	27,889 ( 19.7) [ 19.6]	9,341 ( 4.8) [ 25.4]	9,633 ( 3.1) [ 29.6]	10,251 ( 6.4) [ 15.5]	18,061 ( 76.2) [ 115.9]
代理店	3,478 ( 0.7) [ -4.1]	3,025 ( -13.0) [ -19.6]	3,084 ( 2.0) [ -15.4]	3,186 ( 3.3) [ -7.1]	1,046 ( -1.3) [ -12.2]	1,081 ( 3.4) [ -2.4]	1,133 ( 4.7) [ -8.7]	1,048 ( -7.5) [ -8.3]

- (備考) 1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
2. 四半期は合計額、( )内は対前期(月)増減率、[ ]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

第1図 機械受注総額



第2図 民需（船舶・電力を除く）



(備考)

1. 四半期（月平均）は季節調整済みの月平均値を期央月の位置に表示(例えば7～9月の月平均値は8月の位置に表示)。
2. 「2021年1～3月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2020年12月末時点）」の季節調整値を3で割った数値。
3. 2021年1月調査（同年3月15日公表）において、季節調整系列の遡及改訂を行ったため、それに伴い「2021年1～3月見通し」（同年2月17日公表）も改訂されている。

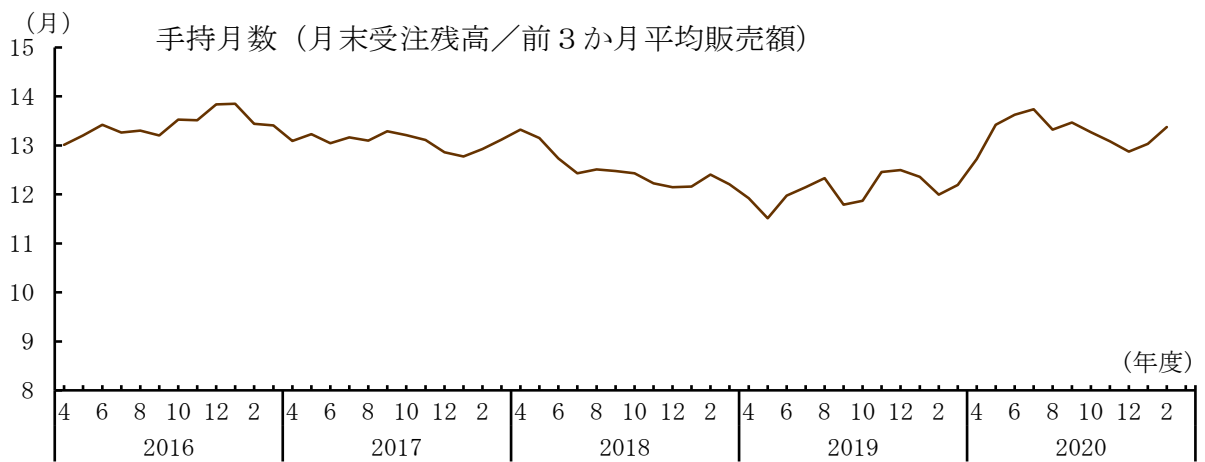
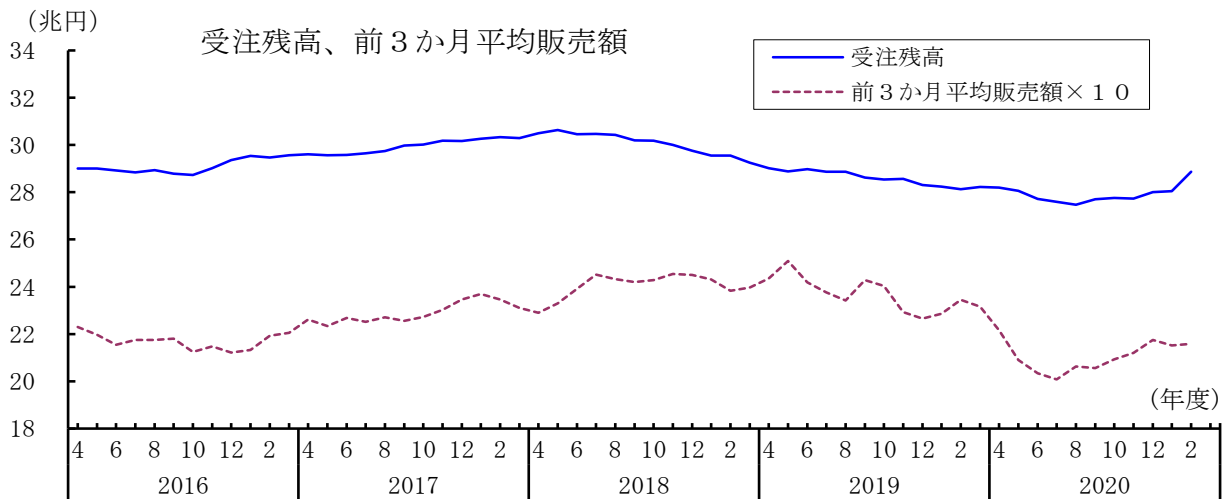
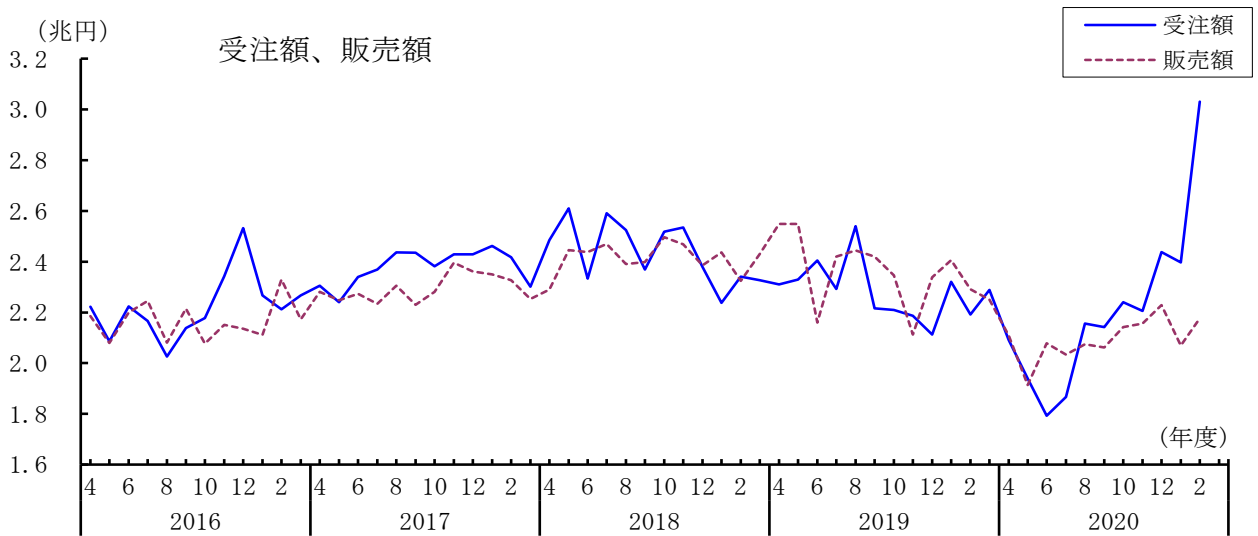
第2表 民需の業種別機械受注の伸び

(単位：%)

需要者	期・月								
		2020年 (令和2年) 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	2020年 (令和2年) 11月	12月	2021年 (令和3年) 1月	2月
I 製造業計		0.4	-12.9	3.1	11.4	-1.6	10.3	-4.2	-5.5
1 食品製造業		15.1	-9.0	-1.2	-5.9	-25.5	63.3	13.2	-47.0
2 繊維工業		-8.6	-13.6	31.9	29.2	-22.9	51.7	-2.4	-51.3
3 パルプ・紙・紙加工品		34.8	-8.1	-19.0	-7.2	-31.8	47.1	3.2	-34.9
4 化学工業		9.6	5.5	-1.5	36.2	16.0	-30.0	-23.4	8.0
5 石油製品・石炭製品		0.8	-17.9	53.1	-14.5	90.1	-63.7	2.5	54.0
6 窯業・土石製品		-10.8	-27.6	31.6	3.8	-13.0	-15.9	-0.9	6.9
7 鉄鋼業		-17.8	-1.1	-12.8	-4.7	-25.5	-8.7	49.6	-1.8
8 非鉄金属		48.2	-16.2	-16.6	54.4	-68.5	96.3	188.3	-39.7
9 金属製品		-10.9	-27.2	26.5	10.7	12.6	-19.7	6.2	-1.6
10 はん用・生産用機械		-1.8	-25.0	19.5	19.8	2.5	8.5	0.1	1.1
11 業務用機械		1.1	-1.4	1.6	-5.2	-7.7	8.8	26.1	-11.4
12 電気機械		15.9	-16.6	-4.2	6.7	18.4	15.9	-14.5	-0.8
13 情報通信機械		5.3	10.7	-16.3	11.2	3.4	-7.8	23.2	-23.6
14 自動車・同付属品		-6.5	-24.6	6.7	7.0	-7.1	7.4	15.7	-8.1
15 造船業		-7.8	12.1	6.0	-2.8	-6.5	79.2	18.5	-37.1
16 「その他輸送用機械」		1.5	-35.0	-6.4	15.0	-14.3	50.7	-29.7	27.0
17 「その他製造業」		-8.7	-12.0	6.1	17.0	-12.9	20.2	-10.7	-12.0
II 非製造業計		-7.5	-6.0	-0.2	3.8	-1.4	8.6	-8.6	-13.9
18 農林漁業		4.4	6.7	-0.0	16.8	17.7	-2.3	19.3	-20.6
19 鉱業・採石業・砂利採取業		1.3	11.8	-7.1	15.8	-14.5	31.8	-28.7	-18.6
20 建設業		-0.4	-2.1	1.7	12.8	16.3	6.0	-8.5	-10.5
21 電力業		-19.4	24.4	-15.0	-17.5	15.1	42.2	-38.7	-24.1
22 運輸業・郵便業		-21.5	-25.8	14.9	-7.7	-28.2	8.3	-17.8	-5.9
23 通信業		27.2	-8.9	7.7	21.3	32.0	-12.2	-15.7	-4.5
24 卸売業・小売業		10.6	-13.0	-6.8	30.3	-16.1	-21.7	11.5	9.1
25 金融業・保険業		-15.8	9.6	-11.6	23.5	-22.3	45.7	-15.8	6.8
26 不動産業		-9.9	-16.2	24.1	37.2	-3.5	22.5	-36.4	-18.0
27 情報サービス業		-1.3	-4.2	-1.3	13.2	-0.6	14.1	-20.2	-0.6
28 リース業		4.6	-0.1	-23.4	7.9	1.1	-7.9	-28.4	-5.9
29 「その他非製造業」		-4.7	-7.6	6.2	7.6	-0.7	14.9	-3.0	-27.2

(備考) 季節調整系列の対前期(月)増減率。

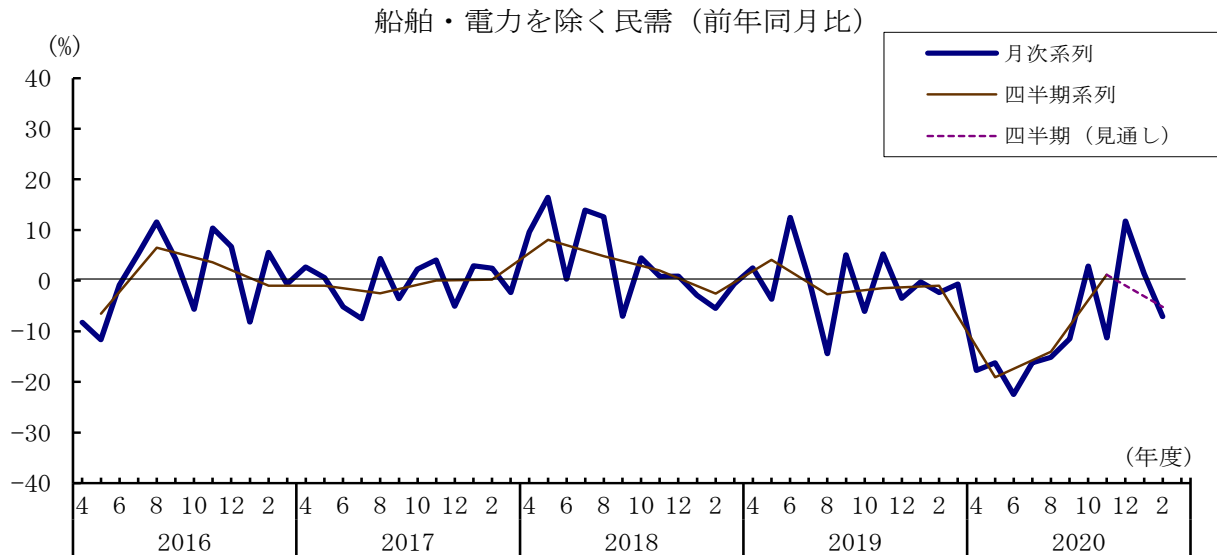
第3図 受注額、販売額、受注残高、手持月数  
(総額、季節調整値)



<参考1> 需要者別の機械受注動向（原数値）

2月の受注総額は、2兆8,279億円の前年同月比40.7%増となった。

第4図 機械受注額の動向



（備考）「2021年1～3月（見通し）」の計数は、「見通し調査（2020年12月末時点）」による。

需要者別にみると、民需は7,760億円で前年同月比11.7%減（船舶・電力を除くと同7.1%減）、官公需は2,251億円で同3.5%増、外需は1兆7,193億円で同115.9%増、また、代理店は1,075億円で同8.3%減となった。

民需のうち、製造業からの受注は、前年同月比2.8%減となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは17業種中、非鉄金属（78.7%増）、造船業（55.1%増）等の8業種で、パルプ・紙・紙加工品（55.8%減）、食品製造業（33.9%減）等の9業種は減少となった。

一方、非製造業からの受注は、前年同月比16.6%減となった。これを業種別にみると、前年同月比で増加したのは12業種中、金融業・保険業（22.2%増）、農林漁業（16.4%増）等の3業種で、電力業（43.2%減）、リース業（36.8%減）等の9業種は減少となった。

<参考2> 機種別の受注額、販売額、受注残高（原数値）

1. 機種別

(1) 受注額

2月の受注額を機種別に前年同月比で見ると、産業機械（138.8%増）、鉄道車両（89.9%増）等で増加となった。反面、航空機（40.8%減）、原動機（35.2%減）等で減少となった。この結果、合計では前年同月比40.7%増となった。

また、民需からの受注額を機種別に前年同月比で見ると、航空機（33.8%



増)、船舶(29.0%増)で増加となった。反面、鉄道車両(54.0%減)、原動機(38.0%減)等で減少となった。この結果、合計では前年同月比11.7%減となった。

第3表 民需の機種別機械受注の伸び

(単位：%)

	2020年 (令和2年) 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	2020年 (令和2年) 11月	12月	2021年 (令和3年) 1月	2月
民需総額	-3.2	-15.5	-14.9	-4.5	-16.7	5.8	-4.9	-11.7
原動機	-13.0	32.0	-27.7	-23.9	-46.9	32.1	41.9	-38.0
重電機	12.8	-44.1	-6.1	-15.5	0.3	-25.3	-43.8	-5.8
電子・通信機械	0.8	-7.7	-11.8	5.0	-0.5	15.3	-4.4	-8.3
産業機械	-8.5	-17.4	-10.6	15.9	17.0	18.0	13.5	-1.6
工作機械	-29.4	-48.8	-38.0	-19.5	-23.0	-23.5	-14.9	-21.8
鉄道車両	42.0	-50.7	-19.5	-61.0	-88.6	-4.4	-41.5	-54.0
道路車両	-2.9	-30.1	-27.9	7.0	-8.8	-0.9	-15.2	-22.2
航空機	-14.5	-31.1	-27.4	37.7	43.6	84.5	-55.8	33.8
船舶	-13.4	39.0	-11.1	-56.5	-39.0	-78.5	-93.0	29.0

## (2) 販売額

2月の販売額を機種別に前年同月比で見ると、船舶(4.5%増)、産業機械(3.4%増)等で増加となった。反面、航空機(44.9%減)、鉄道車両(21.8%減)等で減少となった。この結果、合計では前年同月比5.1%減となった。

## (3) 受注残高

2月の受注残高を機種別に前年同月比で見ると、産業機械(17.5%増)、道路車両(16.3%増)等で増加となった。反面、航空機(15.8%減)、工作機械(13.7%減)等で減少となった。この結果、合計では前年同月比2.6%増となった。

## 2. 鉄構物、軸受、電線・ケーブル

### (1) 鉄構物

2月の受注額は、321億円で前年同月比13.9%減、販売額は、229億円で同4.5%減、受注残高は、4,732億円で同17.2%増となった。

### (2) 軸受

2月の受注額は、614億円で前年同月比24.9%増、販売額は、530億円で同2.3%増、受注残高は、926億円で同0.2%減となった。

### (3) 電線・ケーブル

2月の受注額は、964億円で前年同月比2.9%減、販売額は、949億円で同6.8%減、受注残高は、1,540億円で同23.1%増となった。

機 械 受 注 実 績 調 査 統 計 表  
目 次

[ グラフ ]

第1図 主要需要者別受注額	-----	9
第2図 主要業種別受注額	-----	12
第3図 主要機種別受注額	-----	17

[ 計 数 表 ]

需要者別受注額（季節調整系列）	-----	18
機種別受注残高手持月数（ 〃 ）	-----	23
需要者別受注額（原系列）	-----	24
機種別受注額（ 〃 ）	-----	29
機種別販売額（ 〃 ）	-----	33
機種別受注残高（ 〃 ）	-----	37
機械受注統計調査結果表（2021年2月実績）	-----	41

(別紙)

需要者（業種）分類の表章変更	-----	45
----------------	-------	----

(巻末)

季節調整の検討結果	-----	46
-----------	-------	----